

科目区分	専門分野	授業科目	精神看護学概論
講師名	東 孝子(15) 岡本 諭(15)	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次 第1学期
授業概要 *講師からのメッセージ			
<p>目的：心の健康と発達から精神障害をとらえ、地域での生活を目指す、地域で生活をしている対象と家族を支えるための看護活動および、精神障害のあるあらゆる対象の生活を支える役割と機能について理解する。</p> <p>目標：1. 現代社会の特徴と、心の健康問題について理解する。 2. 精神看護の役割と機能を担うための人間関係構築のスキルやコミュニケーションスキルについて理解する。 3. これからの精神看護における課題を理解する。</p>			
回	授 業 内 容	授 業 方 法	
1～2	1. 精神保健の考え方 1) 精神の健康とは 2) 心身の健康に及ぼすストレスの影響 3) 心的外傷と回復 4) 精神障害というとらえ方 2. 関係の中の人間 1) システムとしての人間関係 2) 全体としての家族 3) 人間と集団	講義	
3	3. 地域におけるケアと支援 1) 「器としての地域」 2) 地域で精神障害を支援する際の原則	講義	
4～5	3) 地域生活を支えるシステムと社会資源 4) 地域におけるケアの方法と実際 5) 学校・職場におけるメンタルヘルスと看護	講義	
6～7	4. 社会の中の精神障害 1) 日本における精神医学・精神医療の流れ 2) 精神障害と法制度	講義	
8	5. 精神障がい者が体験していること	講義	
9	6. 精神看護学で学ぶこと 1) 精神科看護学とはなにか 2) 精神障害者をもつ人の病の体験と精神看護 3) 「心のケア」と日本社会 4) 精神看護の課題 7. 対象関係論（コフォートの自己心理学・土谷健郎の「甘え」理論）	講義	
10	8. ケアの人間関係 1) ケア的前提・原則・方法 2) 患者 - 看護師関係における感情体験 3) チームのダイナミクス	講義	
11	9. 関係をアセスメントする 1) プロセスレコード 2) 自己理解の必要性と治療的コミュニケーション	講義	
12	10. 入院治療の意味 1) 精神科を受診するということ 2) 治療の器としての病院・病棟 3) 入院中の観察とアセスメント 4) 退院に向けての支援とその実際	講義	

13~14	11. 災害と精神看護 12. リエゾン精神看護 13. 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス	講義
15 (45 分)	まとめ	
16 (45 分)	終了試験	
評価方法	筆記試験 100 点 (保健 50 点 看護 50 点) 評価基準参照	
テキスト	医学書院：精神看護学①精神看護の基礎 精神看護学②精神看護の展開	
備考	既習関連科目：心理学、生活援助技術 I	